

授業支援



6年「地域に愛される図書室づくり」

さまざまな立場の人の感じ方や考え方を知り、自分の考え方をもう一度見直したり、他者と一緒に新たな解決方法を見出したりすることは、これからの不透明な時代を生きる子どもたちにとって、必要不可欠な力です。

保護者の方や地域の方、それ以外にも専門的な知識をお持ちの方に授業に入っただくことで、子どもたちはさまざまな立場の方と関わるといった貴重な経験をすることができます。また、他者の考えを聞いたり、自分の考えを伝えたりといった経験を通して、他者と協力して物事を解決するといった力を身につけることもできます。

作業支援



6年「地域に愛される図書室づくり」

6年生は総合的な学習の時間において、4月から「地域に愛される図書室づくり」をテーマに、探究学習を続けています。答えのない課題に対し、アイデアを出し合ってよりよい解決方法を探っていく中で、主体的に課題解決に向かう力を育むのがねらいです。

夏休みには、いろいろな人に利用してもらいやすいように3階にある図書室を1階に移転する作業を行いました。暑い中、たくさんの保護者の方、地域の方にご参加いただき、ありがとうございました。子どもたちの感想から、地域の方との関わりを通して、子どもたちが確実に成長してきていることがわかります。

〈6年生の図書室作りの感想〉

- ただうれしかった。そこまで大きい学校ではないけど、いろんな人が助けに来てくれた。道具を持って来てくれる人もいた。だから、助け合ったり人のために何かをすることはとても大事なことだと思った。
- 大人の方の力で本だなを運んだり、本を運んだり並べたりしていただいで、小学生だけでは限界もあるので、本当に手伝いにきていただけてよかったです。地域の方との仲も深まって、いい機会だったと思った。チームで分けて話し合ったときには、私たちが知らないことや「こうしたらもっとよくなる」など、たくさんのことを教えてもらえたのでよかったです。

「コミュニティ・スクールって何?」「コミュニティ・スクールになったら今までと何が変わるの?」といったさまざまな疑問が解決できるような通信にしていきたいと考えています。コミュニティ・スクールのことで何かお尋ね等ありましたら、遠慮なく学校(42-2024)までご連絡ください。